

# 第 67 回 番組審議会議事録

- 1. 開催日時 令和 7 年 10 月 1 日 午前 10 時から
- 2. 開催場所 よこてイースト 会議室
- 3. 委員出席 委員総数 5 名  
出席委員数 5 名  
欠席委員 0 名

出席委員	岡部 えり子	委員長
	佐々木 隆一	副委員長
	土田 百合子	委 員
	辻 正憲	委 員
	江畑 譲	委 員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 4 名

高橋 雅博	支援室長
佐藤 実園	編成制作部 部長
斎藤 晋平	支援室
細川 正実	営業部／番組審議会事務局

1. (1) 10月課題審議 審議番組

「職場の教養」(令和7年8月20日/9月3日 放送分)

(2) その他

2. 審議事項

(1) ①審議番組 「職場の教養」

- ・職場の教養を活用している。倫理の番組があったのは知っていたが聴いたのは初めて。
- ・毎週1回早朝に集まり研修をしている皆さんに敬意を表したい。
- ・企業の朝礼用冊子が毎月配布されていることを初めて知った。
- ・職場の教養、活動指針の中で、赤信号で止まれば「自分と向き合う」との意味があるとのことで、改めていろいろ考えさせられた。
- ・倫理法人会の活動を知っていたので特段違和感はなかったが、番組を聴く一般の方はどうか考えた。
- ・職場の人に「倫理法人会って知ってる？」と聞くと半数以上、場合によってはほとんどが知らなかった。このコーナーは倫理法人会という会の紹介が大きいと感じた。
- ・冒頭部分に「倫理法人会とは～」とあるが、番組制作としては、リスナーの立ち位置(すべての人が高い倫理感を持っていると信じたいのですが)、に下がってもっと表現を工夫することが必要。
- ・クライアントからの指定かもしれないが制作側としてリスナーにどんな印象を持たれるか、伝える側との聞く側のギャップを伝え、よりよい伝え方を探してほしい。
- ・職場の教養ってなんだろう？心が豊かになることなんだろうなと思って聴いたら冊子だった。短くまとめられていて集中して聴くことができた。
- ・リスナーが大人をターゲットにしているからか、変に感情が入ると押しつけに聴こえそうなところを、淡々と読んでいるので聴きやすかった。
- ・朗読だけでなく会員企業の紹介もあり、それもコンパクトで構成もよかった。無理のないアプローチを感じた。
- ・横手市だけでなく他市でもこのような番組をやっているのか？もしやっているのであれば連携できればさらに良い。

(2) その他番組への意見

- ・クマ関係の放送はしていますか？

《会社側からの回答》

- ・作り方や構成などクライアントと協議してよりよい番組を作っていきたい。
- ・クマに関しては安心安全メールや危機対策課からのお知らせを生放送で随時読んでいる。

3. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ(URL)への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 令和7年10月20日

4. 次回審議番組

『止めない横手のライフライン』

5. 備考 11月、12月は休会とし、次回は1月14日から開催予定。